

遮断ルーフGr 参考図(寄棟)

※寄棟屋根での使用について

遮断ルーフGrは切妻屋根での使用を標準としています。

寄棟屋根にも断熱材としての使用は可能ですが、屋根の構造上通気(排気)が困難になり、遮断ルーフGrの特徴である二層の通気層による排熱の効果が充分に得られなくなります。

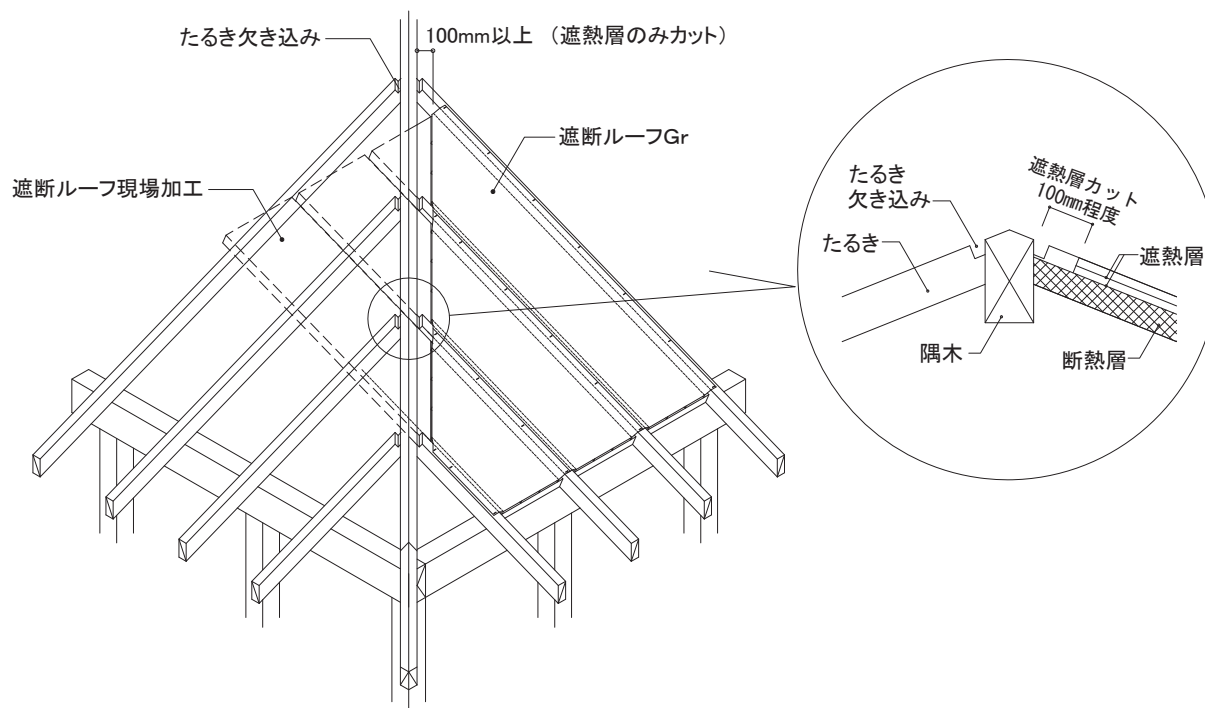
やむを得ない場合は、下記施工例を参考に施工して下さい。

＜寄棟での参考施工例＞

●隅木部分の遮断ルーフGrを現場で加工して施工して下さい。

隅棟に沿って遮熱層(1層目・2層目)を100mm程度切り取り、垂木を切り欠くなどして大棟部の棟換気へ通気確保が必要となります。

注：垂木の切り欠き等躯体の加工については、構造設計上の安全について十分考慮して下さい。



＜隅木部分の遮断ルーフGrの切断方法＞

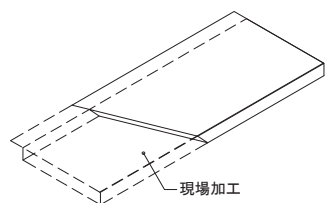
●遮熱層を立ち上げる前に遮断ルーフGr(遮熱層・断熱層)を隅木に合わせて切断します。

パネルの切断部分は屋根勾配によって角度が変わるので注意してください。

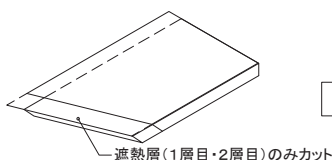
●通気経路となる部分の遮熱層をカットします。(100mm程度)

●遮断ルーフGrを切断した後に遮熱層を立ち上げます。

遮熱層立ち上げ前



遮熱層立ち上げ前



遮熱層を立ち上げます

